

フィッシング対策協議会

月次報告書（2005年12月分）

フィッシング情報届出状況

2006年1月20日

目次

1.	フィッシング情報届出状況	2
1.2.	業種別の状況.....	3
1.3.	フィッシングサイトの国別トップ 10	3
1.4.	フィッシングメールの動向.....	3
1.5.	フィッシングサイトの動向	4
1.6.	フィッシング関連の不正プログラム情報	4
1.7.	その他の動向	4
1.8.	総括.....	4

1. フィッシング情報届出状況

1.1. フィッシング情報届出状況

12月度のフィッシング報告件数は0件でした。

・フィッシング情報の届出件数： 0件

(11月度2件、10月度2件、7月度1件、6月度1件、5月度0件、4月度0件、3月度2件)

・フィッシングメールの件数： 0件

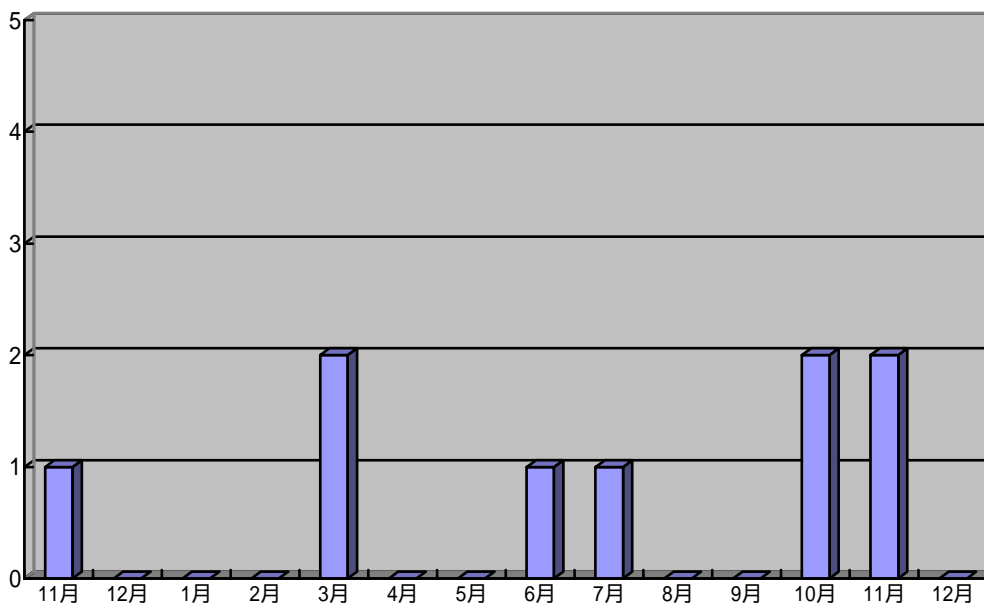
・フィッシングサイトの件数： 0件

(11月度2件、10月度2件、7月度1件、6月度1件、5月度0件、4月度0件、3月度2件)

・フィッシングによりブランド名を悪用された企業の件数： 0件

(11月度2件、10月度2件、7月度1件、6月度1件、5月度0件、4月度0件、3月度2件)

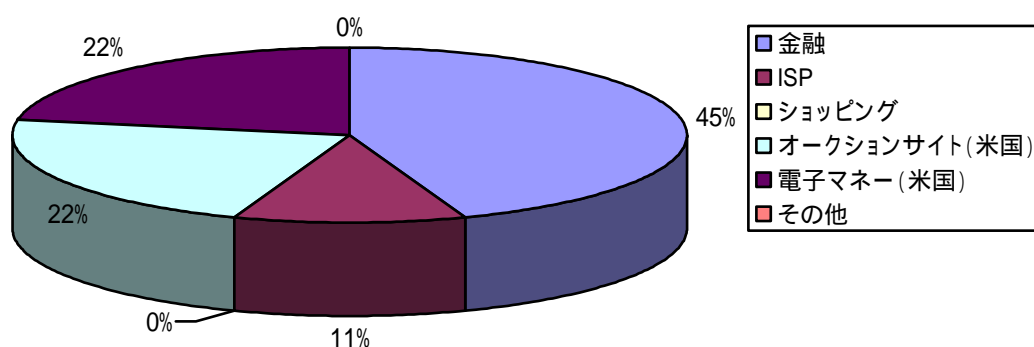
・もっともフィッシングに利用されるWEBサイトが多かった国： 無し



フィッシングサイトの報告件数(2004年11月～2005年12月)

1.2. 業種別の状況

2004年11月度から2005年12月度までの統計は従来までの金融関連4件、ISP1件、オークションサイト2件（米国・日本各1件）、電子マネー2件（米国）という統計になっています。



業種別の状況（2004年11月～2005年12月）

1.3. フィッシングサイトの国別トップ10

現在ではルーマニア（VISA）、ウルグアイ（UFJ銀行）、ポーランド（UFJ銀行）、韓国（UFJ銀行）、日本（Yahoo! Japan）、ペルー（UFJ銀行）、中国（eBay）が各1件、米国（Yahoo!オークション、PayPal）が2件確認されています。

1.4. フィッシングメールの動向

現在確認されているものに関してはHTMLメール偽装リンクを設置してフィッシングサイトに誘導させるというもののみが確認されています。

1.5. フィッシングサイトの動向

12 月度は特に公表した新たな届出はありませんでしたが、一般の方がセミナーやインターネット上の情報としてフィッシング対策協議会とフィッシング詐欺について知り、古いフィッシングメールをお送りいただいたケースがありました。

実際に送っていただいたのは「e-Bay」と「Bank of the West」のフィッシングメールでした。

1.6. フィッシング関連の不正プログラム情報

特にありません。

1.7. その他の動向

特にありません。

1.8. 総括

12 月度は新たに公表されたフィッシングサイトは確認されていませんが、「1.5. フィッシングサイトの動向」でも記載したとおり、一般の方からフィッシングに関する問い合わせが入るようになってきております。現時点では英語のフィッシングメールに関する問い合わせのみですが、日本の消費者はインターネットを介して外国からの物品購入、オークションへの参加をアクティブに行っている背景から、英語のフィッシングメールに関する問い合わせは今後増加傾向にあると思われま